

《令和元年度 環境経済部 組織目標》

◆目標管理者

部長	藤田 雅也
理事	脊戸 拓也
理事	東 隆司

◆部局の役割・目標像

持続可能な発展と環境への配慮を両立させるために、新クリーンセンターを拠点として、低炭素社会への転換や資源循環型社会の構築など、環境にやさしく心地よさが感じられるまちづくりを進めます。また、農・商・工それぞれの分野を強化しながらも、互いの密接な連携による産業振興と交流人口の増加を図り、活気と賑わい溢れるまちづくりを目指します。

◆「心地よさが感じられるまち」の実現に向けて

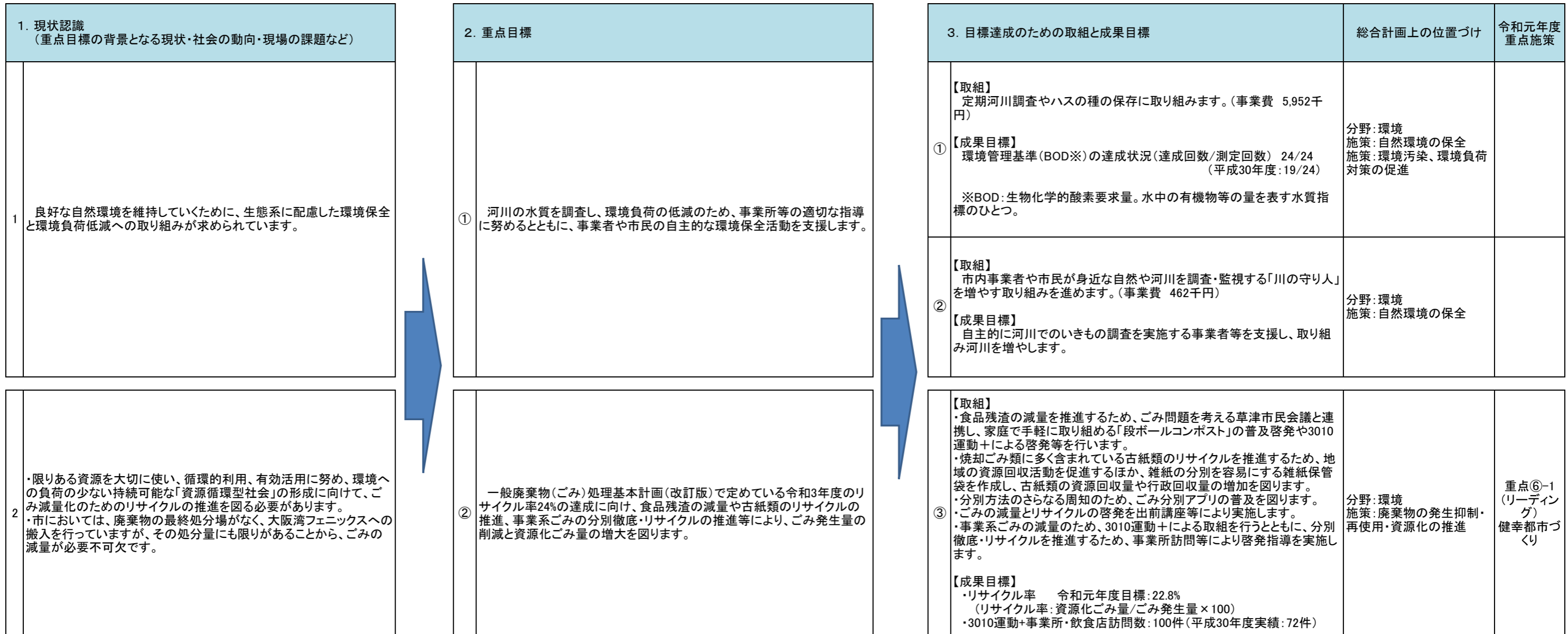
- ・良好な自然環境を維持していくために、生態系に配慮した環境保全と環境負荷低減への取り組みを進めます。
- ・将来にわたって安定した円滑な廃棄物処理を行うとともに、「資源循環型社会」の形成を図るため、リサイクル等によるごみの資源化促進など、ごみの減量化に取り組みます。
- ・「資源循環型社会」の形成を図るため、リサイクル等によるごみの資源化促進など、ごみの減量化に取り組むとともに、安全で安心できるクリーンセンターの運営に努め、将来にわたって安定した円滑な廃棄物処理を行います。
- ・低炭素社会への転換を目指した省エネルギーや新エネルギーの利用促進を図ります。また、環境啓発や環境学習を通じて、地域における環境活動を支援し、未来の環境を守る取り組みを進めます。

◆「活気があふれるまち」の実現に向けて

- ・商工会議所や観光物産協会等関係団体の活動を支援することにより、商業・観光の振興を図ります。
- ・心地よさを感じ、住み続けたいまちづくりの気運を高めるために草津商工会議所を始めとする関係団体等との連携を強め、商業・観光の振興を図ります。
- ・草津市工業振興計画に基づき、市内産業の活性化・雇用の拡大を促進し、草津市の持つ強みを活かした産業振興を図ります。
- ・安定的で持続可能な農業経営の確立、市民と農業者がともに育み、潤いと活力を与える「農」のあるまちの確立を目指し、地域ごとの活力ある経営体の育成や農地の集積・集約化、草津用水事業など農業基盤の整備や保全、農村環境・景観保全活動に向けた支援を引き続き進めます。

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)						当初予算規模(千円)		
	正規	特任	再任用	嘱託	臨時	合計	歳出 (職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	2	2	0	0	0	4	—	—	—
環境政策課	7	0	0	1	3	11	85,911	11,242	74,669
資源循環推進課	10	0	2	2	2	16	1,397,548	474,748	922,800
くさつエコスタイルプラザ	6	0	0	2	1	9	19,726	4,394	15,332
商工観光労政課	12	0	0	3	0	15	299,835	47,761	252,074
農林水産課	12	0	1	0	3	16	345,215	195,520	149,695
						0			0
						0			0
						0			0
						0			0
合計	49	2	3	8	9	71	2,148,235	733,665	1,414,570



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	令和元年度 重点施策
<p>3 環境にやさしいまちづくりを進めるうえで、環境学習の推進や低炭素社会への転換が求められています。</p>	<p>③ 「第2次草津市環境基本計画」に掲げるリーディング事業「『エコミュージアム』の展開」を図るため、新たな啓発施設「くさつエコスタイルプラザ」を拠点として、環境学習等に関わる様々な活動情報を提供・発信できる場づくりや、環境学習に取り組む人・団体などの活動支援を図ります。</p>	<p>④ 【取組】 子どもと大人が身近な環境について一緒に話し合い、日ごろ環境への取り組みを行っている学校や市民団体、企業などが取り組みを発表・交流する場である「子ども環境会議」を、新たに環境啓発の拠点施設である「くさつエコスタイルプラザ」にて開催します。(事業費 816千円)</p> <p>【成果目標】 子ども環境会議参加団体数 63団体(平成30年度:55団体)</p>	<p>分野: 環境 施策: 環境学習の拡充</p>	
<p>4 日本経済は、緩やかに回復しているものの、中小企業の経営や雇用情勢には依然として厳しい環境が継続していることから、引き続き、市内産業の活性化を図っていくことが必要となっています。</p>	<p>④ 草津市工業振興計画に基づき、引き続き、ビジネスマッチング等による販路拡大を推進するとともに、市内への新規立地を含め、市内の成長ものづくり、医療・ヘルスケア、環境・エネルギー産業等の継続的な事業展開に対する支援を充実し、設備投資の誘引による市内産業の活性化を図り、雇用の拡大につなげていきます。また、健幸都市づくりの推進の一環として、企業が主体となって、従業員の健康増進・疾病予防に取り組んでいただけの機運を高めます。</p>	<p>⑤ 【取組】 草津イノベーションコーディネータ(2名)による企業訪問(情報収集と提供)活動やセールスプロモーション支援事業により、市内企業の交流・商談・マッチングによる販路の拡大活動を促進します。(事業費 12,275千円)</p> <p>【成果目標】 草津イノベーションコーディネータによる企業対応件数およびマッチング件数 令和元年度 対応件数 640件 マッチング件数 128件 (平成30年度 対応件数 580件 マッチング件数 108件)</p> <p>⑥ 【取組】 公的インキュベーション施設退去企業立地促進補助金の活用により、市内企業等の投資を促進し、地域産業の活性化を図ります。(事業費 3,800千円)</p> <p>【成果目標】 公的インキュベーション施設退去企業立地促進補助金に基づく新規誘致件数 令和元年度 2件 (平成30年度 2件)</p> <p>⑦ 【取組】 企業が従業員の健康管理を経営的視点で捉え、従業員の健康保持・増進に戦略的に取り組む健康経営を導入する企業の増加を図ります。(事業費 150千円)</p> <p>【成果目標】 健康経営優良法人の認定事業所数 令和元年度 3件 (平成30年度 1件)</p>	<p>分野: 商工観光 施策: 研究開発人材の連携と協働の基盤づくり 施策: 中小企業の技術向上と経営革新の支援</p> <p>分野: 商工観光 施策: 企業の誘致と集積促進 施策: 新産業の創出</p> <p>分野: 健康・保険 施策: 疾病予防対策の強化</p>	<p>重点⑥-1 (リーディング) 健幸都市づくり</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
5	市の魅力を全国に発信しながら、本市の特性に合った効果的な観光物産振興事業および商業振興により、交流人口の増加や観光消費の拡大を図り、にぎわいあふれるまちづくりに取り組むことが必要となっています。

6	国において、生産効率を高め競争力のある「攻めの農林水産業」を実現するために、農地の利用集積や経営体の育成に係る政策が展開されていることから、市域においても国の政策を活用しつつ、地域の特性を生かした農業振興を図っていくことが必要となっています。
---	---

2. 重点目標	
⑤	草津市観光物産協会や草津商工会議所等の関係団体の活動を支援し、交流人口の増加と観光消費の拡大による商業・観光の振興を図ります。

⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・国の農業・農村政策である「攻めの農林水産業」を推進するため、「人・農地プラン」に基づき、効率的かつ持続可能な農業の実現に向け、担い手の育成や農地の集積など関係機関と連携して取り組みます。 また、農業生産を支える基幹的な土地改良施設の機能更新により、安定した地域農業経営の確立に向けた取り組みを進めます。 さらに、法面の草刈りや水路の泥上げ等の地元による農村地域の維持活動に対する支援制度である「農村まるごと保全向上対策事業」の広域化事業を推進し、農村地域の維持保全活動の継続並びに地域活性化の支援体制の強化を図ります。 ・馬場山寺地域の未整備田において、農地の基盤整備(ほ場整備)を実施し、農地の大区画化と担い手農家への農地集積により、生産性の向上や経営規模拡大など地域農業の振興と優良農地の確保・保全を進めます。
---	---

3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	令和元年度重点施策
⑧	<p>【取組】 草津商工会議所や草津市商店街連盟等の関係団体による活動を支援するとともに、今年度は、草津駅周辺の商店街に管理用カメラを設置し、安全・安心な商店街づくりを支援し、まちの魅力向上を図ります。 (事業費 商工団体活動費補助金 14,044千円、商店街活性化推進費 22,351千円)</p> <p>【成果目標】 買物をする環境が整っていると思う市民の割合 令和元年度 76% (平成30年度 74.5%)</p>	分野: 商工観光 施策: 地域商業の活性化	
⑨	<p>【取組】 「宿場町草津」・「びわ湖草津」の魅力の発信や、健幸を意識した地域の観光資源を活かしたヘルスツーリズムを推進します。また今年度は、観光物産協会の活動による経済波及効果を高めるため、観光物産協会の機能強化に係る取組を支援します。 また、びわこピジターズビューローや近隣市とも連携し広域観光を進めます。 (事業費 草津市観光物産協会観光振興活動費補助金 29,083千円、第51回草津宿場まつり開催費補助金 13,500千円、広域観光費 1,019千円)</p> <p>【成果目標】 観光入込客数 令和元年 3,105,000人 (平成30年(暫定版)3,104,200人)</p>	分野: 商工観光 施策: 観光資源の活用と草津のブランド力の強化 施策: 出会いとふれあいの魅力の発信	重点⑥-1 (リーディング) 健幸都市づくり
⑩	<p>【取組】 持続可能な地域農業の実現を目指す「人・農地プラン」に基づき、担い手に対し、県・JA草津市・農業者等の関係機関と連携し支援を行うとともに、農地中間管理機構の活用やJA草津市を通じた利用権の設定、また、農業委員、農地利用最適化推進員などの関係機関を通じ、農地の利用集積を図ります。</p> <p>【成果目標】 担い手への農地の集積率 令和元年度 66.2% (平成30年度:63.2%)</p>	分野: 農林水産 施策: 持続的・安定的な農業経営の確立	
⑪	<p>【取組】 県における草津用水土地改良区の基幹的な土地改良施設の機能更新事業(県営草津用水二期事業)の円滑な推進と早期完了を図るため安定的な予算の要望を行うとともに、必要な経費の一部を負担するなど、農業生産施設の適正な機能更新を図ります。 (市負担金 112,500千円(平成30年度:123,603千円)) ・馬場山寺地区基盤整備事業の事業採択に必要な基本設計業務、外周測量業務を実施します。 (予算額 57,485千円)</p> <p>【成果目標】 草津用水二期事業全体進捗率 44.6%(平成30年度:36.2%) ・草津用水二期事業(2期地区1工区)進捗率 42.0% (平成30年度:25.0%) ・農村まるごと保全向上広域化事業の推進 令和元年度 572ha(46ha増加:下寺・下寺津田江の農用地面積)</p>	分野: 農林水産 施策: 農地の保全と農業的土地利用の増進	